



# すくすく めえる



子育てほっとステーション あゆみ子どもセンター  
 熊本市北区武蔵ヶ丘1-4-32 (あゆみ保育園内)  
 ☎096-339-5673 相談専用☎096-339-5721  
 http://www.kumamoto-ayumi.org E-mail: ayumi@wonder.ocn.ne.jp

## 子どもの遊びどう関わる？

「子どもとどう遊んであげたらいいの・・・？」と悩む方も多いと思います。子どもにとって“遊び”は今後の成長に欠かせないものです。一番近くにいる大人がどうやって関わるかで子どもは遊び上手にもなっています。

### ◎親子での関わりを楽しむ いろいろ

(身体を使った遊び) ・抱っこしてぐるぐる ・シーソー遊び ・ジャンプ 嫌がる時はやめておきましょうね。	(やりとり遊び) ・一本橋ごちよごちよ ・いないいないばあ ・にらめっこ 等	(おもちゃを使った遊び) ・風船飛ばし ・シヤボン玉 ・ボール転がし ・ボーリング 等
--	---	---

繰り返しのある歌や同じパターンの遊びの経験をすることで興味を持ちやすくなります。

### ◎遊びの中で子どもの言葉をはぐくむために

子どもの言葉の発達のためには、日常生活のさまざまな経験や、大人たちとの関わり方の積み重ねがとても大切です。子どもが興味を持っていること・してすることに言葉をそえましょう。ポイントをいくつか紹介しますね。

#### \* 話す楽しさを体験させよう

子どもは楽しいことやうれしいことに話の深まりを見つけていきます。大人は、子どもの話にうなずいたり、共感したりしながら、子どもの話がより広がっていくように言葉かけをするなど、「聞き上手」になって話を聞きましょう。また、話し方や発音などが気になるからといって、指摘して言い直しをさせるのではなく、市自然な会話の中で、大人が正しい発音を聞かせてあげることが大切です。

#### \* 子どもの言ったことをよく聞こう

子どもは生活の中で話し方を練習しているので、スムーズには話せません。考える、思い出す、言葉を選ぶなど、子どもの頭の中はフル回転しています。子どもの話をすぐに遮らず、温かい気持ちで待ちましょう。

#### \* いろいろなことを体験させよう

言葉を獲得していくためには、いろいろな物を実際に見たり、動かしたり、触ったり、嗅いだりするなどして、その物の名称だけでなく、色や形、重さ、大きさ、動きなどの特徴もつかむことが大切です。子どもの言葉は、周りの大人との温かいふれ合いの中で育まれていくものです。

今年の8月は、例年になく連日の大雨で、日本各地に甚大な被害をもたらし、ニュースで流れる映像を見る度に胸を痛める日々が続いたの～。  
 この異常気象とコロナウイルス感染拡大に、不安と制限された生活でストレスを抱えているお母さんや子ども達も多かったんじゃないかな。支援センターも休館となり、ワジも気になっておるところじゃ。そんな時は1人で抱え込まずに、まずはいつでも電話をしてきてくれるとうれしいな～。待つとるからな！！



## 遊びは心の栄養

子どもにとっての遊びは、食事や睡眠と同じように毎日欠かせないものです。“心の栄養”足りていますか？体力、運動能力、想像力、忍耐力、柔軟性、生活能力、器用さ、ルールを守る力など、机に座った勉強では獲得できない能力を、子どもは「遊び」の中で獲得します。

### 意欲・自発性



環境を探索し、挑戦することに  
 よって意欲がわいてきます。

### 社会性、人間関係の力



大人のまねをしながら社会に必要  
 なスキルを獲得します。関わりによ  
 って言葉も育ちます。

### 自己有能感、達成感



「できた!!」「自分はうまくや  
 れる!!」という自信を育みます

### 思考力、認識力



物の性質・形・大きさ・重さ・  
 感動・数・空間感覚・原因と結  
 果などなど

### 情緒の安定



受け入れがたい現実を、遊びをくぐ  
 らせることによって消化します。

遊びには正解がありません。遊びの  
 ルールは状況に合わせて柔軟にか  
 えることができます。遊びの中  
 は、どの子ども同様に失敗を経験  
 します。幼児期に柔軟でたくましい  
 心を身に着けた子どもたちは、苦勞  
 や挫折を乗り越えていく力を身に  
 つけていくことでしょう。